

## 37. ヘア&メイクアップを用いて利用者さんを笑顔にしたい！

グループ名 精神保健ボランティアグループ「ふらっと」

代 表 者 石倉成美

### 活動の動機・目的

地域サロンで活動をしていて、普段から感じている事がある。

精神障がいの方は、人付き合いが得意ではない人が多いが、人が嫌いかというとそうではない。反対に他者と繋がりたい、友達が欲しいと思いつつ、一歩踏み込めないでいる。それは、自分に自信がもてないからではないかと考えた。それを少しでも解消するために、「自分が好きになれるように」「明るい気分になれるように」「誰かと会いたくなるとうに」とふらっとは「メイクアップ」に注目した。

また、今までは精神障がい者との関わりが多かったが、様々な障がいを持つ方との関わりも増えてきたことを踏まえて、今回は身体障がい者そして高齢者の各施設ともコンタクトをとった。

ヘアメイクアップアーティスト&社会福祉士の方々に協力を得て、時代に合った、ひとりひとりの個性と希望に副ったメイクを施し、方法を伝えていく。そして、本人も知らない魅力を知ってもらい、自信に繋がればと企画した。

### 活動内容

リサーチ…障がい者施設、高齢者施設へメイクアップアーティストとともに訪問をし、施設長もしくは担当者ニーズ等について話し合いをした。そして精神障がい、身体障がいそれぞれの障がいの特性、高齢者に対する配慮などを打ち合わせした。その際は、各施設の雰囲気やメイクアップなどを実施するにあたっての環境も併せてチェックしていった。その結果を踏まえて、それぞれの施設や障がいにあった活動計画を立てた。

### 活動について

#### ◆精神障がい者施設

実施月	施設名	利用者数	参加人数
10月	特定非営利活動法人 陽だまりの会	6人	3人
10月	社会福祉法人 フォレスト倶楽部 ぱうんどケーキ村	7人	3人
11月	社会福祉法人 やなぎの里 クロスロード	9人	5人

始めは興味があってもなかなか積極的に手を上げる人は少なかった。

しかし他の方がメイクが終わり綺麗になっていく姿を見て、やってみようとして少しずつ積極的になっていった。また、30歳台にして始めて化粧をされた方もおられた。コミュニケーションを通じてリラックスできたことにより、ご自分の病気についてや家庭内のことについて話も弾んだ。

自分の使っている化粧品に対して、普段お店では相談できない質問や、自分の持っている化粧品を使って、化粧の仕方を教えて欲しいなどの意見が多く出た。

メイクが終わった後は、写真を撮り合ったり、帰って家族に見せるのが楽しみだ、このまま家に帰るのはもったいないなどと言われていた。職員も協力的で、この企画に対してはとても期待をもってくれていた。



◆高齢者施設

実施月	施設名	利用者数	参加人数
12月	社会福祉法人 みすず福祉会 しらかばホール	15名	5名
12月	社会福祉法人 みすず福祉会 しらかばホール	15名	5名

事前の訪問時に、特養とデイサービス、グループホームを併設している施設で、希望者が多いのが分かり、メイクアップアーティスト2名が対応した。利用者の方は、臆することなく積極的にメイクを希望されていた。また、メイクを希望されない方は、ヘアセットやハンドマッサージを施した。

メイクが終わって、美しくなった自分を見て少し恥ずかしがりながらも嬉しそうにされていた。そしてお互いに褒めあい気持ちも若返ったのか、娘時代を思い出し、よくお話をされていた。



◆身体障がい者施設

実施月	施設名	利用者数	参加人数
1月	株式会社オールケアライフ 門真市障がい者福祉センター	20名	5名

事前打ち合わせに伺った際に、「今まで考えた事がない。是非やって欲しい」と職員の積極的な関わりがあった。重度の方が多く、麻痺が強かったり、寝たきりの方も多くおられた。

はじめは緊張して、なかなか受け入れていただけなかったが、声かけや実際に化粧をしてもらう様子をボランティアが見せる事により、安心してメイクをしてもらう環境づくりをした。

眉を整えたいと男性の希望者もあった。男性も言葉は出ないが、本当に嬉しそうにされていた。様々な障害があるので、ヘアメイクアップアーティストも相手の表情をみながら、ゆっくりと声かけをしながらメイクをしていった。

始めてメイクをされる方がほとんどで、仕上がった時は、本人はもとより職員や周りの人の感動が私達にも伝わってきた。



## 今後について

助成金を頂いたことにより、ヘアメイクアップという手法を用いて、障害を持つ方々と関わる事ができた。ボランティアグループとして今までと違う手法を得たことにより、高齢者・身体障害者とも関わる事が出来、これからのボランティアグループとしての展望を見出すことが出来た。

今後も、様々な障がいに対して関わりをもって動いていきたい。

## 決算報告

収入	
大同生命厚生事業団助成金	100,000 円
支出	
講師謝礼（交通費含む） @5,000 円×6 回	30,000 円
化粧品等消耗品	50,000 円
広報・通信費 切手・封筒・用紙・コピー・印刷費	2,820 円
交通費	
事前打ち合わせ	9,600 円
当日交通費	16,760 円
支出合計	109,180 円